都市・街路施設を活用した『減災』対策のご提案

・・・環境にやさしく災害に強いまちづくりに向けて・・・



2012年2月10日 積水樹脂株式会社



いつ発生するかわからない・・・

逸去のデータに基づく 施設設計を上回るハザードの発生!







地球温暖化

防災

災害対策

ハード対策

莫太なコスト



国の財政状況から ハード対策が困難!



近年、ソフト対策 による『減災』が 注目されている

被害抑止



津波防波堤の整備 防波堤の整備 水門・陸閘門の整備 構造物の耐震化 e.t.c.

被害軽減



住民の意識啓発 防災情報の提供 避難地・避難路整備 避難訓練の実施 e.t.c.

ソフト対策

比較的安価なコスト



国として、ソフト対策 を施策に注目



都市・街路施設を 活用した『減災』対策 を提案します

最も大切なものは「いのち」、 それをを守る手段は?

ハザードからの避難

『減災』情報とは?

避難のための情報

その提供媒体は?

対象とするユーザは?

自治体としての 最低限の対象は住民

住民



近年は、観光施策より観光客 等のビジターも重要視される

より多くの人が 特別な機器等を用いず 情報入事できる

> 行政サービス としての公平性

情報提供する媒体は?

住民でなければ 情報入手できない

> ハザードマップ (広報誌

特別な機器と スキルを用いなければ 情報入手できない





『減災』情報の提媒としては、『公共サイン』が最適である





対応

非常用電源機能

パワーコンディショナーの自立運転機能 により、非常電源として活用可能

環境 + 災害対応・節電に貢献します